KEURIG

取扱説明書

（保証書一体）

キューリグコーヒー抽出機

品　番　BS200

Neotrevie
ネオトレビエ

もくじ

ページ

お使いになる前に

安全上のご注意　1～2
各部の名称と使いかた　3～4

使いかた

水の入れかた　5
初めてお使いになる前のすすぎ　6～7
ご使用方法〈準備〉　8
〈抽出〉　9～10
〈排水〉　11

お使いいただく上で

お手入れ　12～14
故障かな？と思ったとき　15～16
ワンポイントアドバイス　17
仕様・点検のお願い　18

保証書とアフターサービス　裏表紙

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます

・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
　お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
・ご使用の前に1～2ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
・この商品は一般家庭用、及び店舗のキッチン、事務所、ホテル、その他の住環境において使用することを目的としています。屋外では使用できません。
・この商品を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
　For use in Japan only.

安全上のご注意 必ずお守りください

あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

● 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を２つに区分しています

⚠ **警告：** 死亡や重傷を負うおそれがある内容	⚠ **注意：** 軽傷を負うおそれや物的損害が発生するおそれがある内容

● お守りいただく内容を図記号で説明しています

⃠ してはいけない**「禁止」**の内容	❗ 必ず実行していただく**「強制」**の内容

⚠ 警告

● やけどに注意してください

● **排水中は排水口に触ったり顔などを近づけない**
・排水は必ず水タンクふたを取り付けて行ってください。
（やけどの原因）

● **抽出中や抽出完了直後は抽出口に触ったり、顔などを近づけない**
・特に乳児には触らせないよう注意してください。
（やけどの原因）

● **カップを置かずに使わない**
（やけどの原因）

● 電源コードやさし込みプラグの取り扱いに注意してください

● **定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う**
・他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱することがあります。（発火・火災の原因）
・延長コードも定格 15A 以上のものを単独で使用してください。

● **さし込みプラグは根元まで確実にコンセントにさし込む**
（感電・ショートによる発火・火災の原因）

● **さし込みプラグに付いたほこりなどは、定期的に取り除く**
・湿気などで絶縁不良となります。（絶縁不良による発火・火災の原因）
→ さし込みプラグを乾いた布で拭いてください。

● **ぬれた手でさし込みプラグを抜きさししない**
（感電の原因）

● **電源コードやさし込みプラグを破損するようなことはしない**
・傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。（感電・ショートによる発火・火災の原因）

● **電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントへのさし込みが緩いときは使用しない**
（感電・ショートによる発火・火災の原因）

● 事故を避けるために守ってください

● **子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない**
（やけど・感電・けがの原因）

● **分解・修理・改造はしない**
（火災・感電・けがの原因）→ 修理はお買い上げ販売店にご相談ください。

● **水につけたり、水をかけたりしない**
（感電・ショートによる発火の原因）

● **異常・故障時にはただちに使用を中止し、さし込みプラグをコンセントから抜く**
（発煙・発火・感電・やけど・けがのおそれ）
＜異常・故障例＞
・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷している。
・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする。
・動作中に本体から異常な音がする。
※点検・修理をお買い上げ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

● 以下のような場所では使わないでください

● **不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない**
（火災の原因）

● **火気の近くで使わない**
（火災の原因）

● **壁や家具の近くで使わない**
（蒸気で壁や家具を傷め、変色・変形の原因）

● やけどやけがに注意してください

● **カップなどを置いたまま、本体を動かさない**
（やけどの原因）

● **使用中や使用後しばらくの間、本体を動かさない**
（やけどの原因）

● **抽出中は抽出ヘッドを開けない**
（やけどの原因）

● **抽出ヘッド内側の針、K カップホルダー内部の針に触れない**
（けがの原因）

● **使用中や使用後は本体などの高温部（抽出口・排水口など）に触れない**
（やけどの原因）

● **お手入れは冷めてから行う**
（やけどの原因）

● さし込みプラグの取り扱いに注意してください

● **さし込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずさし込みプラグを持って引き抜く**
（感電・ショートによる発火の原因）

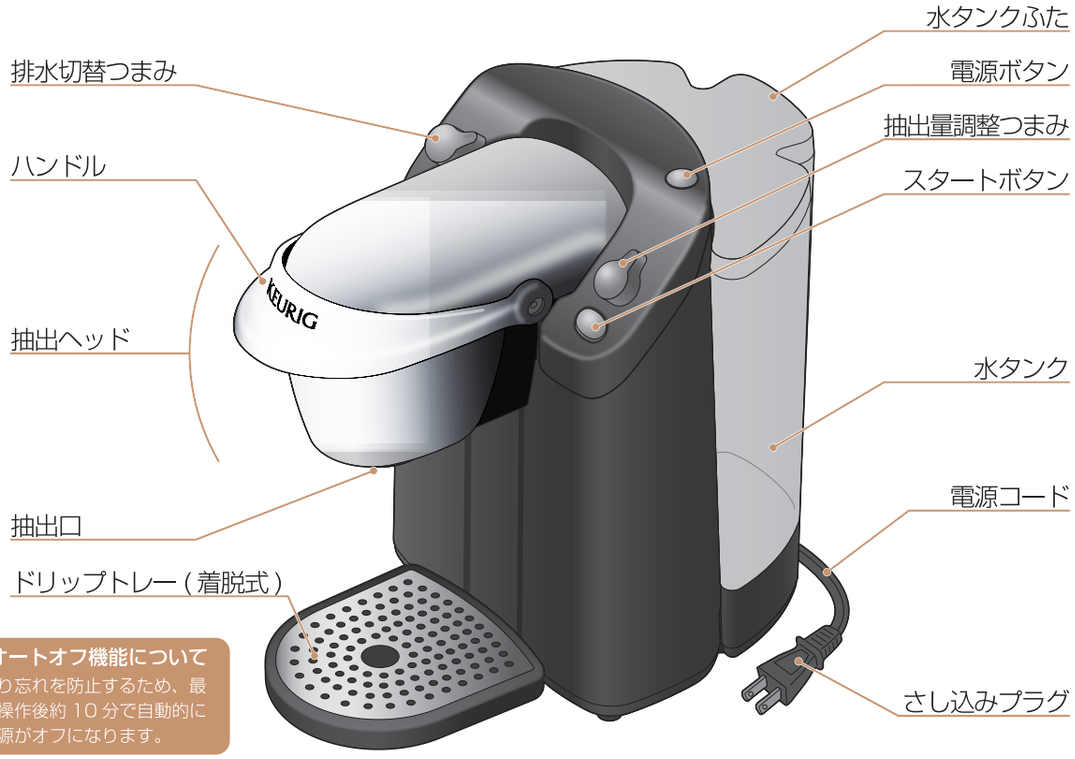
● **使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く**
（絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因）

● **部品の取り付け・取り外し・お手入れのときは、さし込みプラグをコンセントから抜く**
（けが・やけどの原因）

お願い

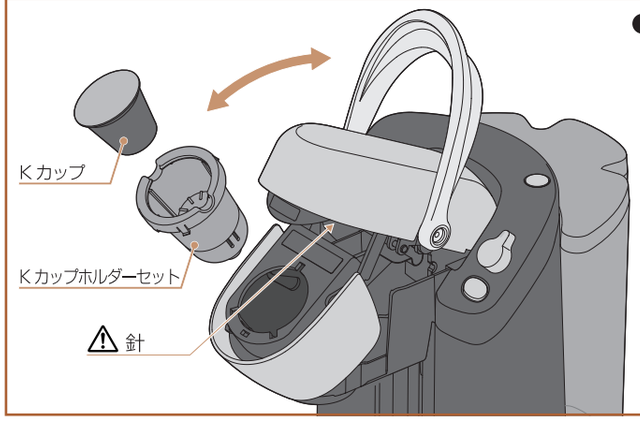
・水タンクに、水垢洗浄剤を除く水以外（お湯・ミルク・酒など）の液体を入れないでください。（故障の原因）
・長期間お使いにならないときは、水タンクおよび本体内部タンクに水を残したまま放置しないでください。
（水が腐敗し、ニオイの原因）→ P.11『排水』を参照していただき、排水を行ってください。
・純度の高い水（純水・イオン交換水・蒸留水など）を使用しないでください。水位センサーが水を検知できず、本機が正常に動作しません。また、水は常に新しいものを使ってください。
・凍結するおそれのある場所に保管する場合は、必ず水を完全に排水してください。（凍結による故障の原因）
・使用後は K カップホルダーセットを洗浄し、ドリップトレーは定期的に洗浄してください。
・水タンクを取り外すときに、水タンクの底に付着した水が落ちることがありますので、注意してください。
・ハンドルや抽出ヘッドを持って移動しないでください。（故障の原因）
・温度の低い場所に保管していた場合には、２時間程あたたかい室内に本機を置いて温めてから使ってください。
（本体内部の結露による故障のおそれ、抽出温度が低くなるおそれ）
・ご使用場所は本体から上面に 15cm 以上、側面と後面に 4.5cm 以上空間をとり前面と、側面の片一方は開放して、肩よりも低い位置に設置してください。（熱による変形・変色の原因、火災の原因、操作時落下のおそれ）

各部の名称と使いかた



● オートオフ機能について
切り忘れを防止するため、最終操作後約 10 分で自動的に電源がオフになります。

抽出ヘッド・ハンドル

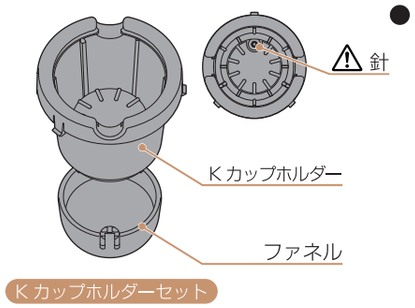


● 抽出ヘッドを開いて、K カップおよび K カップホルダーセットの着脱を行う

抽出ヘッドの開きかた：ハンドルを持ち上げ、抽出ヘッドを開く。
抽出ヘッドの閉じかた：ハンドルを下げ、抽出ヘッドを閉じる。

⚠ 注意
・ハンドル以外を持って操作すると、ハンドルに手を挟まれることがあります。
・抽出ヘッド内側には K カップに穴をあけるための鋭い針が付いています。

K カップホルダーセット



● K カップホルダーに K カップをセットする

⚠ 注意
・K カップホルダー内部には K カップに穴をあけるための鋭い針が付いています。けがの原因になりますので、K カップホルダー内部に指を入れないでください。

排水切替つまみ

● 排水と抽出のモードを切り替える

電源ボタン

● 電源を入 / 切する
● 電源ボタンの点灯・点滅 (2 種類) で本体の動作状態を表す

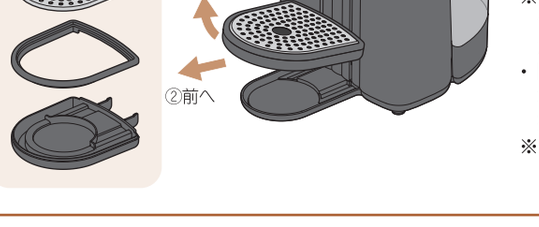
点灯
はやい点滅
ゆっくり点滅

排水切替つまみが『抽出』のとき
点灯　　：適温状態
はやい点滅　：水タンクの水不足
※約10分後に自動的に電源を切ります。
ゆっくり点滅：給水中または加熱中

排水切替つまみが『排水』のとき
点灯　　：排水可能
はやい点滅　：水タンクに残水有り

抽出量調整つまみ

● 好みの抽出量を無段階で調整可能
カップの大きさ、好みの味に合わせてつまみ位置を調整する。



スタートボタン

● 抽出・排水を開始 / 停止する

スタート

排水切替つまみが『抽出』のとき
・抽出を開始する
・抽出を途中で停止する

排水切替つまみが『排水』のとき
・排水を開始する
・排水を途中で停止する

※点灯時は、スタートボタンを押しても何も動作しません。

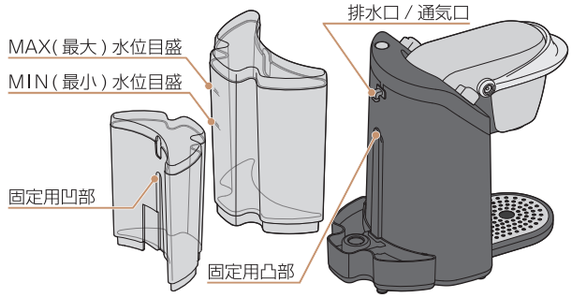
● スタートボタンの点灯・点滅 (2 種類) で本体の動作状態を表す

スタート 点灯
スタート はやい点滅
スタート ゆっくり点滅

排水切替つまみが『抽出』のとき
点灯　　：適温状態
　　Kカップのセット待ち
はやい点滅　：ボタン操作待ち
ゆっくり点滅：抽出中

排水切替つまみが『排水』のとき
ゆっくり点滅：排水可能

水タンク



● 取り外し可能

・取り外しかた
排水口 / 通気口に水タンクが接触しないように、水タンクを垂直に少し持ち上げた後、後方に引っ張りながら持ち上げる。

・取り付けかた
取り外したときの逆の動作で取り付ける。その際、本体後方の固定用凸部が水タンクの凹部に確実にかかっていることを確認する。水タンクは奥まできっちりとさし込む。

ドリップトレー (着脱式)

お手入れするときに分解できます

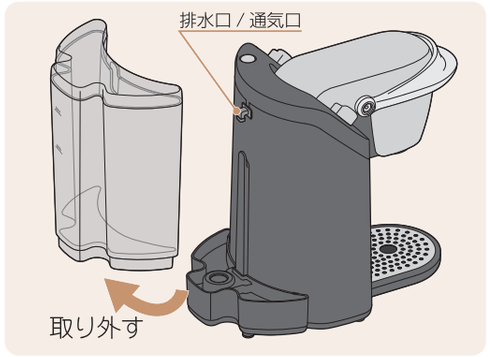
● カップに合わせて、好みの高さに調節可能 (3 段)
● サーモマグなどの背の高いカップにはドリップトレーを外して使用可能 (サーモマグの高さ目安 130mm まで)

・ドリップトレーの取り外しかた
① ドリップトレー前方を上方に傾ける
② 前方に引き抜く
※ドリップトレー内部に水などが多く入っていると、傾けたときにこぼれますので、こまめに水などを捨ててください。
※抽出完了直後は、ドリップトレー内に熱いお湯が入っている場合がありますので着脱のときは、十分に冷えたことを確認してから行ってください。

・ドリップトレーの取り付けかた
本体溝にドリップトレーのフックを根元までさし込み、前方を押し下げる。
※ドリップトレーを前方に軽く引っ張り固定されていることを確認してください。取り付けが不完全ですと、カップを置いたときにドリップトレーが脱落し、カップの破損やけがの原因になります。

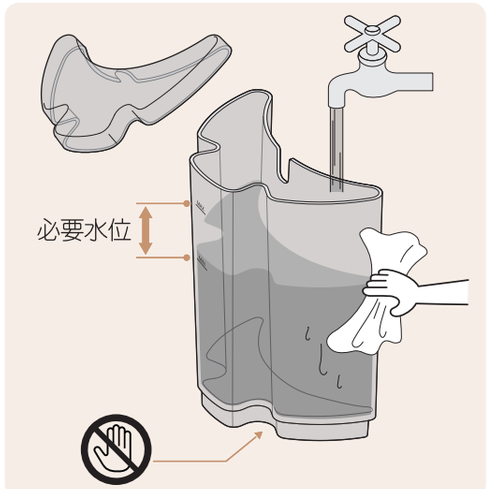
水の入れかた

※水タンク内の水が少なくなり水位センサーが反応すると、スタートボタンが消灯し、電源ボタンがはやく点滅し、抽出できなくなります。抽出したいときは、水を補給してください。
※純度の高い水 (純水・イオン交換水・蒸留水など) を使用しないでください。水位センサーが水を検知できず、本機が正常に動作しません。(故障ではありません)



1. 水タンクを取り外す

・P.4 の『各部の名称』に記載された取り外しかたにそって、水タンクを取り外す



2. 水を入れる

① 水タンク蓋を取り外し、MIN(最小) 水位目盛から MAX(最大) 水位目盛の間まで水を入れる
② 水タンクふたを取り付ける
③ 水タンク外側に付いた水を拭き取る

※MIN(最小) 水位目盛
本体内部タンクが空のとき、1 杯分が抽出可能な水の量です。
※水タンクを持ち運ぶときは、水タンク底にある本体との連結部には触れないでください。水漏れのおそれがあります。

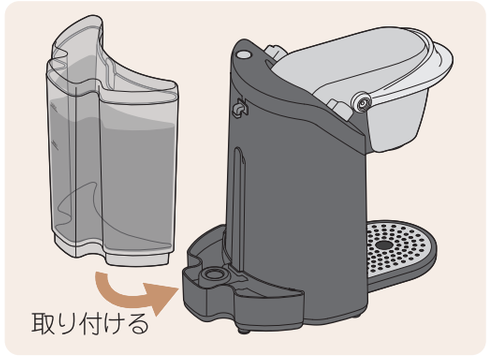
3. 水タンクを取り付ける

・P.4 の『各部の名称』に記載された取り付けかたにそって、水タンクを本体に取り付ける

※水タンクを奥まできっちりとさし込んでください。取付けが不十分ですと、水漏れの原因になります。

初めてお使いになる前のすすぎ

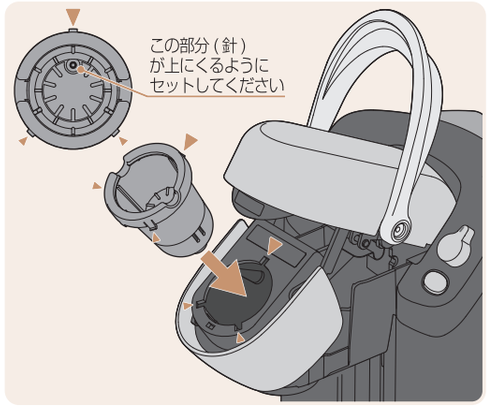
※長期間お使いにならなかった場合も、この操作を行ってください。
※この操作では、Kカップは使用しないでください。



1. 水タンクに MAX(最大) 水位目盛まで水を入れ本体に取り付ける

・水タンクは奥まできっちりとさし込む

2. 排水切替つまみを『抽出』に切り替える

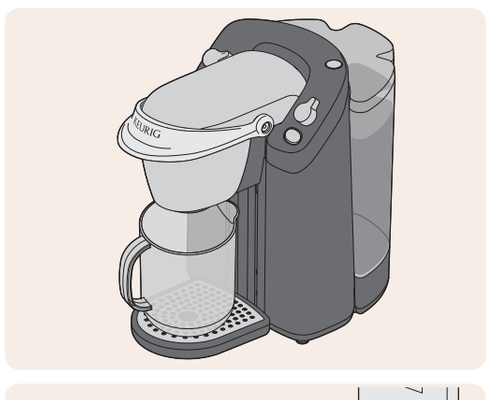


3. Kカップホルダーセットがセットされていることを確認する

・ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開けて、K カップホルダーセットがセットされていることを確認する

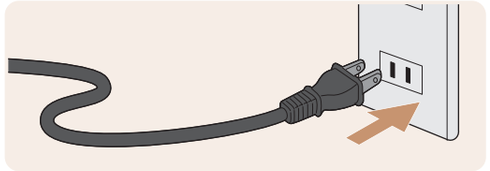
※3 ケ所のツメがきっちりとはまっていることを確認してください。
※K カップホルダーセットがセットされていないときは、左図のように 3 ケ所のツメを合わせて、カチッと音がするように正しくセットしてください。

・確認後は、ハンドルを下げ抽出ヘッドを閉じる



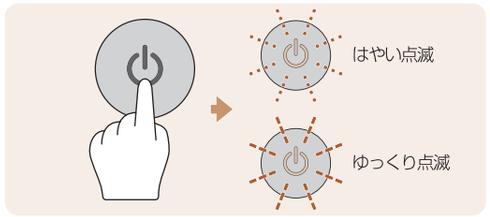
4. 少し大きめの容器をドリップトレーの中央に置く

※250mL 以上の水が入る耐熱性の容器を準備してください。



5. さし込みプラグをコンセントにさし込む

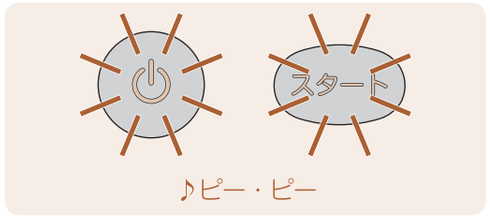
初めてお使いになる前のすすぎ（つづき）



6. 電源ボタンを押す

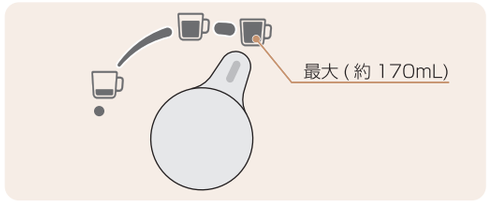
・電源ボタンが点滅する

はやい点滅：水タンクの水が不足。
そのときは再度、手順 1 を行う。
ゆっくり点滅：水タンクから本体内部タンクへ自動給水中
または加熱中。



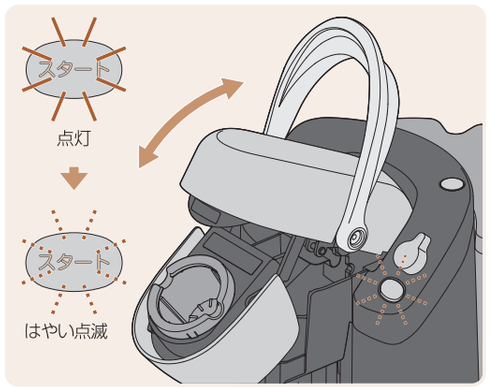
7. 適温になると電源ボタンとスタートボタンが点灯し、ブザーが『ピー・ピー』と鳴る

※適温になるまでの所要時間は約 3 分です。



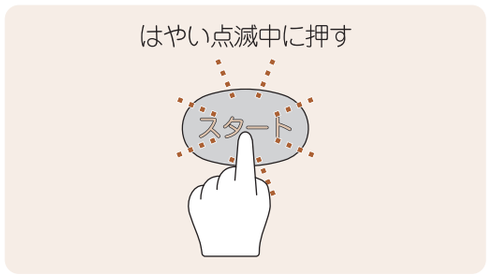
8. 抽出量調整つまみを最大抽出量 (約 170mL) にセットする

・抽出量調整つまみを右へいっぱいに回す



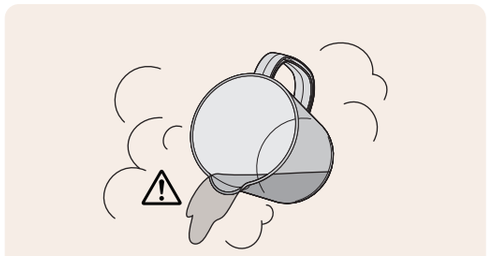
9. 抽出ヘッドを開閉する

・スタートボタンが点灯からはやい点滅に変わる



10. スタートボタンを押す

・スタートボタンがゆっくり点滅し抽出が開始される
・抽出が完了するとスタートボタンが点灯に変わる
※スタートボタンがはやい点滅の状態で**約 5 分放置すると、再び点灯に変わりスタートボタンを押しても反応しなくなります。**
そのときは**再度、抽出ヘッドを開閉してください。**



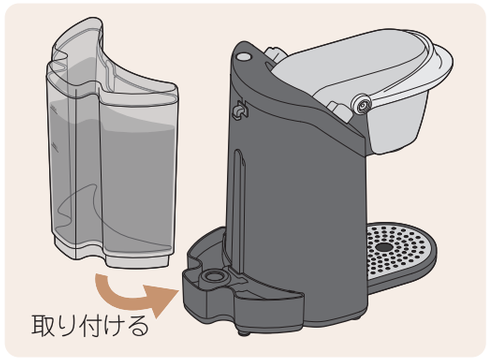
11. 抽出されたすすぎ水を捨てる

⚠ **注意**
・容器およびすすぎ水は大変熱くなっていますので注意してください。
(やけどのおそれ)

12. 9 ～ 11 の操作を 3 回繰り返す

※電源ボタンがはやく点滅し、スタートボタンが消灯しているときは水が不足していますので補給してください。水の補給後は再度手順 6 を行ってください。

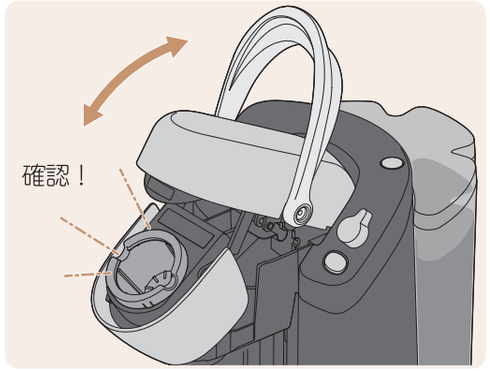
ご使用方法 ＜準備＞



1. 水を入れる

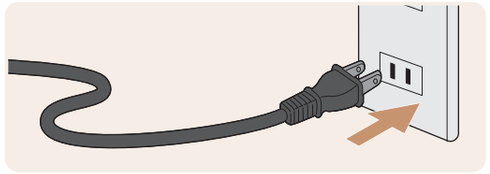
・水タンク蓋を取り外し、MIN(最小) 水位目盛から MAX(最大) 水位目盛の間まで水を入れる
(P.5『水の入れかた』参照)

2. 排水切替つまみを『抽出』に切り替える

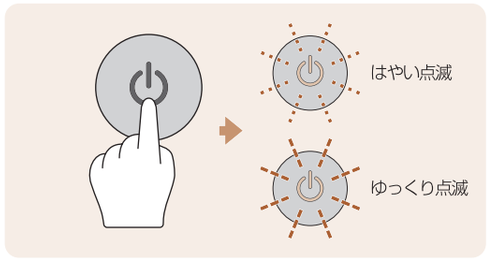


3. K カップホルダーセットがセットされていることを確認する

・ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開けて、K カップホルダーセットがセットされていることを確認する
・確認後は、ハンドルを下げ抽出ヘッドを閉じる
※K カップホルダーセットがセットされていないときは、正しくセットしてください。
(P.6『初めてお使いになる前のすすぎ』参照)



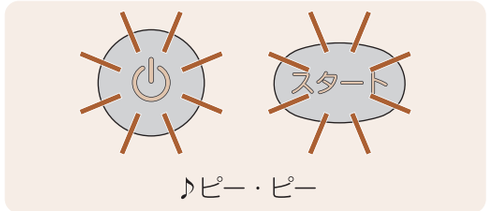
4. さし込みプラグをコンセントにさし込む



5. 電源ボタンを押す

・電源ボタンが点滅する

はやい点滅：水タンクの水が不足。
そのときは再度、手順 1 を行う。
ゆっくり点滅：水タンクから本体内部タンクへ自動給水中
または加熱中。

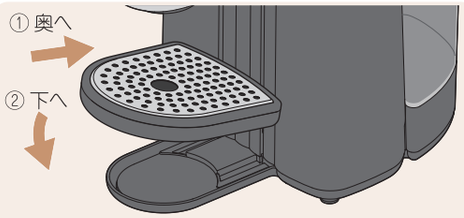


6. 適温になると電源ボタンとスタートボタンが点灯し、ブザーが『ピー・ピー』と鳴る

※適温になるまでの所要時間は約 3 分です。

＜抽出＞

※何も操作しない状態が約10分続くと、オートオフ機能が働き自動的に電源がオフになります。

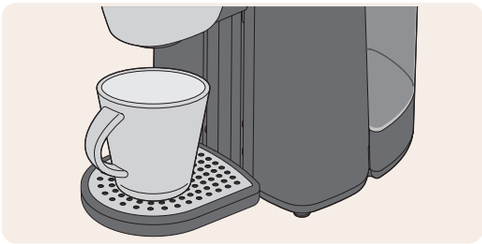


1. ドリップトレーの高さを調節する

・使用するカップの高さに合わせ、好みの高さに調節する（3段）

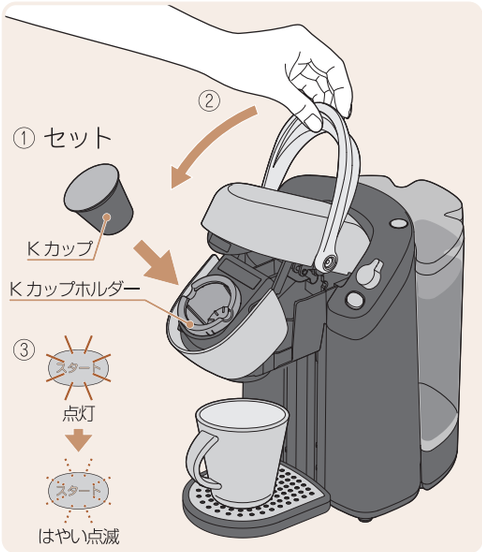
※調節した後はドリップトレーを前方に軽く引っ張り固定されていることを確認してください。

※サーモマグなどの背の高いカップには、ドリップトレーを外してご使用いただけます。



2. カップをドリップトレーの中央に置く

※カップと抽出口の距離によっては、コーヒーが飛び散り、周囲が汚れることがあります。



3. Kカップをセットする

① ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開き、Kカップを Kカップホルダーにセットする

⚠ 注意

・Kカップホルダーと抽出ヘッド内部には鋭い針がありますので針に触れないように注意してください。（けがのおそれ）

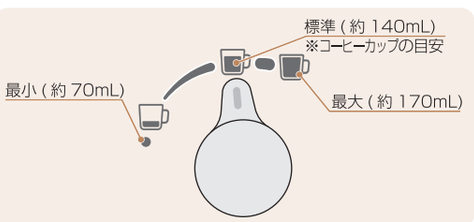
② ハンドルを下げて、抽出ヘッドを閉じる

※抽出ヘッドを閉じるとき、Kカップに針で穴を開けるため少し力が必要です。

※抽出ヘッドが確実に閉まったことを確認してください。

③スタートボタンが点灯からはやい点滅に変わる

※Kカップはお湯が適温になった後にセットしてください。
適温になる前にセットした場合は抽出ヘッドを再開閉する必要があります。



4. 好みの抽出量にセットする

・抽出量調整つまみを回し、好みの抽出量にセットする

※最小約 70mL ～最大約 170mL を無段階に調整できます。

※カップが小さいと溢れる事があります、カップのサイズを確認してください。

5. スタートボタンを押す

・スタートボタンがゆっくり点滅し、抽出が開始される

・抽出時間は標準抽出量（約 140mL）を抽出するのに約 30 秒

※スタートボタンがはやい点滅の状態で**約５分放置すると、再び点灯に変わりスタートボタンを押しても反応しなくなります。**
そのときは**再度、抽出ヘッドを開閉してください。**

※抽出中は絶対に抽出ヘッドを開けないでください。

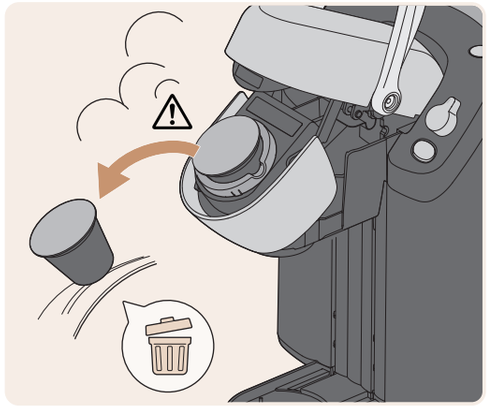
6. 抽出完了

・自動で抽出を停止し、スタートボタンが点灯に変わる

※抽出完了後

・電源ボタン：はやい点滅、スタートボタン：消灯
水タンクの水が不足。
続けて抽出する場合は、水を補給してください。

・電源ボタン：ゆっくり点滅、スタートボタン：消灯
再加熱中です。
続けて抽出する場合は適温（電源ボタンとスタートボタンが点灯）になるまでお待ちください。



7. Kカップを取り出す

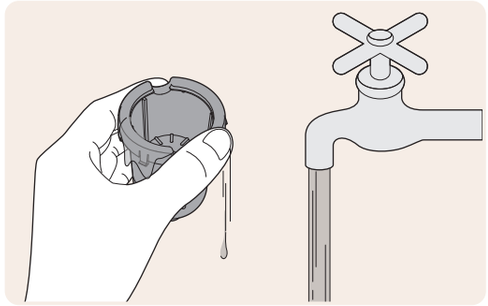
・ハンドルを持ち上げ抽出ヘッドを開き、使用済みのKカップを取り出し、捨てる

⚠ 注意

・抽出完了直後は、Kカップや Kカップホルダーが熱くなっていますので注意してください。（やけどのおそれ）

・一度抽出した Kカップは再使用できませんので捨ててください。

・Kカップの廃棄につきましては、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。



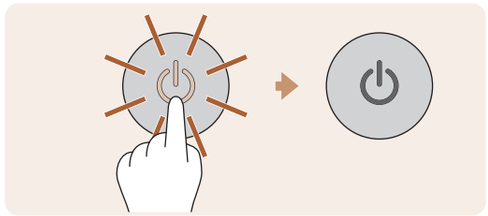
8. ご使用後の片づけ

・Kカップホルダーセットを洗浄する

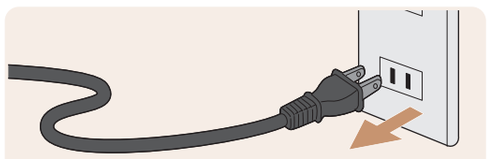
※Kカップホルダー内部の鋭い針にご注意ください。

※洗浄後は水分を拭き取るか、十分に乾かしてください。

・本体内部タンクに残った水を排水する
(P.11「排水」参照)



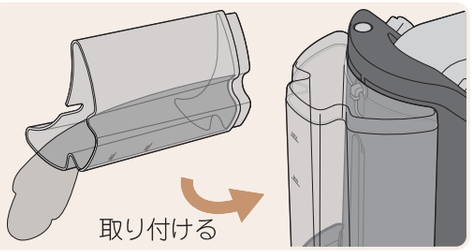
9. 電源ボタンを押し、電源を切る



10. さし込みプラグを抜く

＜排水＞

ご使用後は必ず本体内部タンクの水を排水してください。
※抽出完了直後は本体内部タンクの水は熱いので、しばらく放置し冷めてから排水を行ってください。熱湯のまま排水を行うとやけどのおそれや水タンクの変形・故障の原因になります。



1. 水タンク内の水を捨てる

① 水タンクを本体から取り外し、水を捨てる
② 水タンクに水タンクふたを取り付け、本体に取り付ける

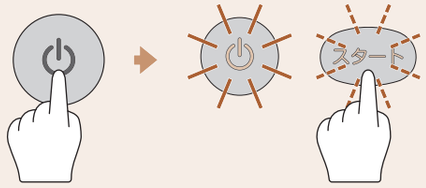
※水タンクの水を捨て、空にしないと排水できません。
※水タンクには必ず水タンクふたを取り付けてください。排水中に水が飛び散ります。

2. 排水切替つまみを『排水』に切り替える

3. 電源ボタンを押す

・電源ボタンが点灯し、スタートボタンがゆっくり点滅する

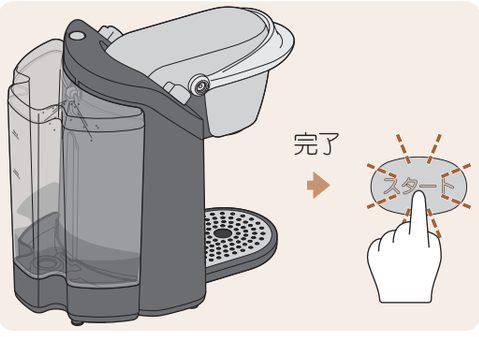
※スタートボタンが消灯し、電源ボタンがはやく点滅している場合は、水タンク内に水が残っているときです。そのときは手順 1 をやり直してください。



4. スタートボタンを押す

・スタートボタンを押すと排水口から水タンク内に排水される

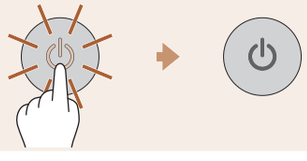
※抽出ヘッドは閉じてください。



5. 排水完了 / 停止

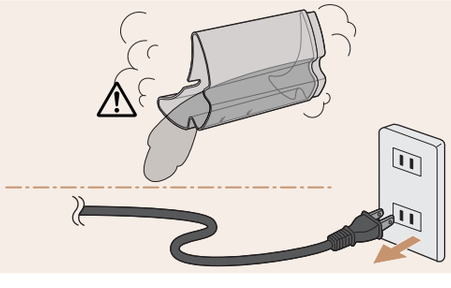
・排水口より水が出なくなったら、スタートボタンを押し排水を停止する
・本体内部タンクの水が冷めていない場合、排水の最後に蒸気が噴出する

※排水を途中で停止したいときは、スタートボタンを押すと停止できます。このとき、排水停止とともに排水口 / 通気口から蒸気が噴出するので注意してください。
※排水は最大約 60 秒で自動停止します。



6. 電源ボタンを押し電源を切る

※電源を切る前に排水切替コックを『抽出』に切り替えると、本体内部への給水が開始されますので注意してください。



7. 水タンク内に排水された水を捨てる

・水タンクを取り外し水を捨てる

※水タンク内の水は熱くなっている場合がありますので、やけどに注意してください。

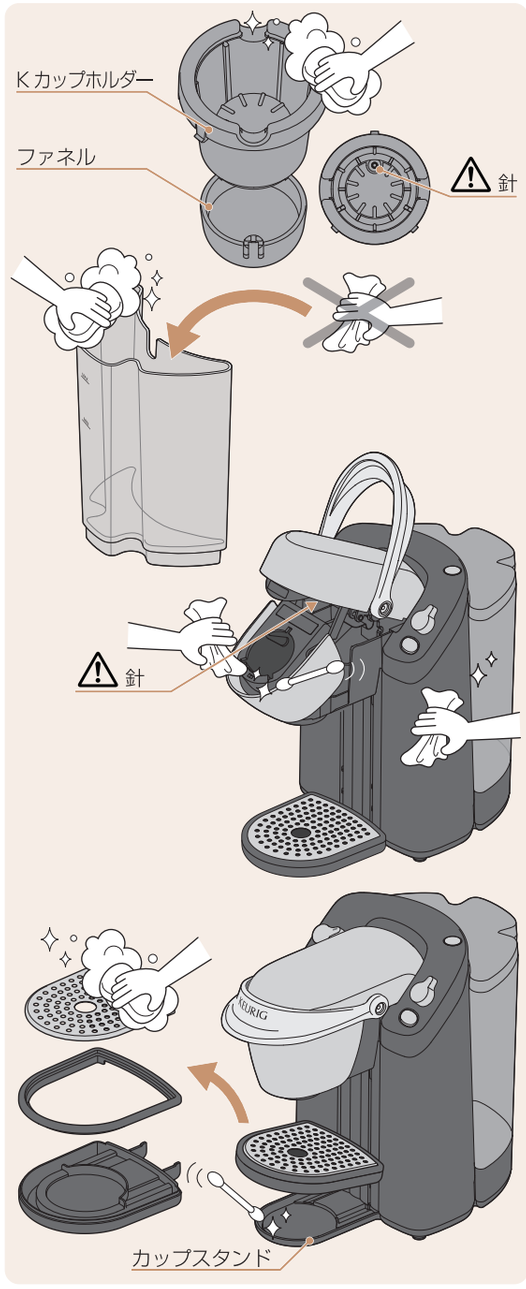
・水タンク外側の水滴を拭き取り、本体に取り付ける

8. さし込みプラグをコンセントから抜く

お手入れ

● 本体外部

※さし込みプラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷めてから行ってください。
※台所中性洗剤を使用するときは、薄めて使用してください。
※食器洗い乾燥機・食器乾燥機・熱湯は使用しないでください。
（変形や故障の原因になります）
※漂白剤・ベンジン・シンナー・アルコールは使用しないでください。
（割れや変色・印刷のはがれなどの原因になります）
※磨き粉・たわし・スポンジの硬いナイロン面は使用しないでください。
（表面が傷つきます）



Kカップホルダーセット

● Kカップホルダーからファネルを外しそれぞれ薄めた中性洗剤で洗浄する。
Kカップホルダーの針が詰まった場合、細い針金（ゼムクリップなど）をKカップホルダー外面の底から針の穴に差し込み、詰まっているものを取り除く。
※針はKカップホルダー内部の底にあります。
※針の先端は鋭くとがっていますのでけがをしないように注意してください。

水タンク・水タンクふた

● 薄めた中性洗剤で洗浄する。
※水タンクの内側を布などで拭かないでください。布の糸くずなどが本体内部に入り込み故障の原因になります。

抽出ヘッド内部

● 硬く絞ったふきんで拭く。
前部の細かい部分は、綿棒などで掃除する。
※抽出ヘッド上側の内部には、先端の鋭い針がありますのでお手入れするときは、けがに十分注意してください。
※清掃後は、すすぎを行ってください。
(P.5『初めてお使いになる前のすすぎ』参照)

本体

● 硬く絞ったふきんで拭く。

ドリップトレー・カップスタンド

ドリップトレー
● 各部品を分解し、薄めた中性洗剤で洗浄する。

カップスタンド
● 硬く絞ったふきんで拭く。
● 細かい部分は綿棒などで掃除する。

● 本体内部の洗浄

※使っているうちに、水に含まれるミネラル分 (カルシウム・マグネシウムなど) が本体内部の水管やボイラーに付着します。これは、水垢と呼ばれるもので人体には無害ですが、抽出性能を低下させますので定期的に洗浄してください。
※6 ケ月毎に洗浄を行うことが一般的ですが、水質により水垢の付き具合が異なります。ミネラル分の多い水 (特に硬水と言われるヨーロッパ産のミネラルウォーター) は水垢が付きやすくなります。

1. 排水する

・本体内部に水が入っている場合は排水を行う
(P.11『排水』参照)

2. 洗浄液の準備

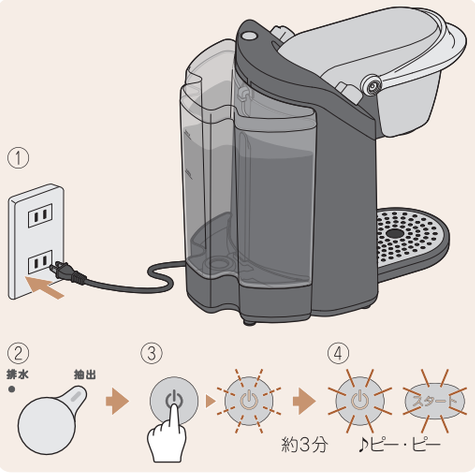
市販の電気ポット洗浄用クエン酸を使用する場合

① 市販の電気ポット洗浄用クエン酸 20g ～ 30g と陶器製カップ (容量 250mL 以上)、ぬるま湯 200mL を用意する
② 準備したクエン酸を陶器製カップに入れて、200 mL のぬるま湯で溶かす
③ 水タンクに 800mL の水を入れ、ぬるま湯で溶かしたクエン酸液を加える

※市販洗浄剤は製造メーカー毎に溶かす水の量が異なります。洗浄剤の説明書に記載されている指示に従ってください。

別売のキューリグ スケール クリーナー LC800 を使用する場合

① キューリグ スケール クリーナー LC800 を 1 本用意する
② 準備したキューリグ スケール クリーナー LC800 (1 本) を水タンクに入れ、1L の水を加える

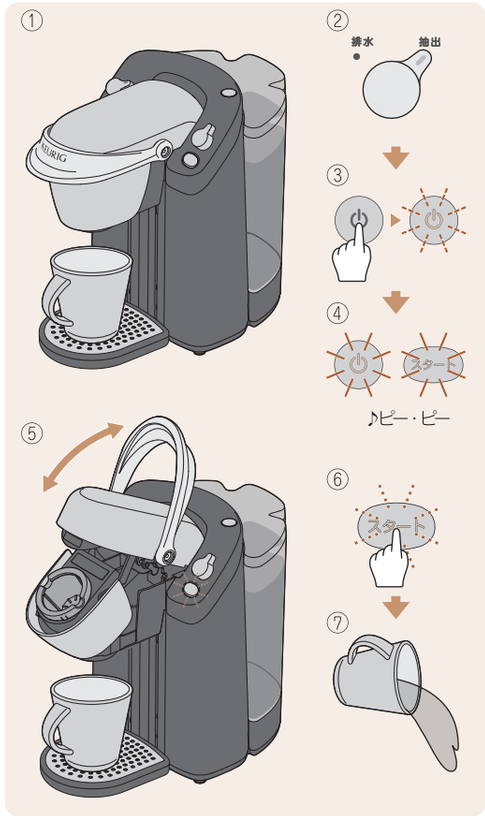


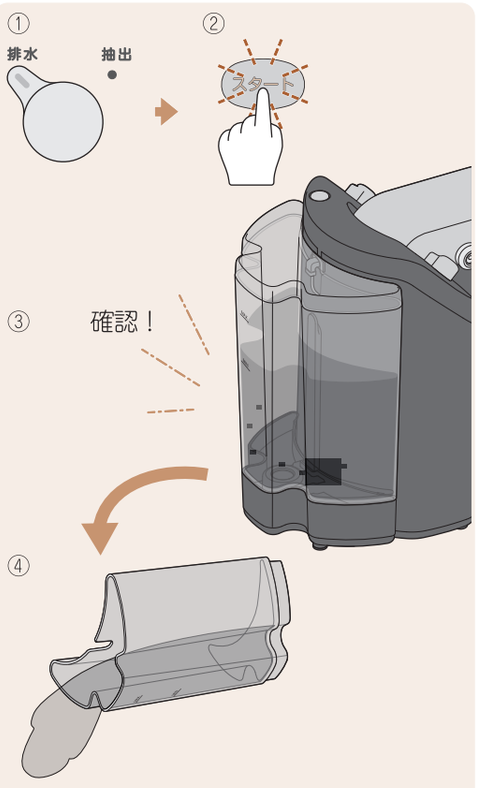
3. 給水・洗浄

① さし込みプラグをコンセントにさし込む
② 排水切替レバーを『抽出』に切り替える
③ 電源ボタンを押し、電源を入れると洗浄液が本体内部に給水・加熱され、電源ボタンがゆっくり点滅する
④ 約 3 分で加熱が完了し、電源ボタンとスタートボタンが点灯しブザーが鳴る
⑤ 電源を入れた状態で以下の時間放置する
・市販の電気ポット洗浄用クエン酸使用時 : 4 時間程度
・キューリグ スケール クリーナー使用時 : 1 時間程度

※約 10 分でオートオフ機能が動作し電源がオフになりますが、そのまま放置してください。

⚠ 注意
・洗浄中に誤ってコーヒーなどの抽出操作をしないように注意してください。





4. 洗浄液を抽出

① ドリップトレーの中央に陶器製カップ (容量 250 mL 以上) を置く
② 排水切替つまみが『抽出』になっていることを確認する
③ 電源ボタンを押し電源を入れると、電源ボタンがゆっくり点滅し、加熱が始まる
④ 加熱が完了すると、電源ボタンとスタートボタンが点灯するとともにブザーが鳴る
⑤ 抽出ヘッドを開閉する
・スタートボタンがはやく点滅する

※K カップはセットしないでください。

⑥ スタートボタンを押し抽出する
⑦ 陶器製カップに抽出された洗浄液を捨てる
⑧ 水タンクの洗浄液が少なくなり、水タンクの水位不足サイン (電源ボタンがはやく点滅) がでるまで上記⑤～⑦を繰り返す

5. 排水・すすぎ

① 排水切替つまみを『排水』に切り替える
② スタートボタンがゆっくり点滅していることを確認し、スタートボタンを押して排水する。
電源ボタンがはやく点滅しスタートボタンが消灯している場合は、水タンクの水を捨ててからスタートボタンを押す
③ 水タンクに排水された水に水垢が無いことを確認する。水垢などの粒子が混ざっている場合は、本体内部の洗浄が不十分なので、水タンクに洗浄液の代わりに水を入れて水垢が出なくなるまで、手順 3 ～ 4 を繰り返す。ただし、手順 3 ⑤ の放置時間は不要
④ 水タンク内に排水された水を捨てる
⑤ すすぎを行う (P.6『初めてお使いになる前のすすぎ』参照)

※クエン酸のニオイが気になるときは、すすぎを繰り返してください。

故障かな？と思ったとき

※お問い合わせや修理を依頼される前にお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	直しかた	参照
電源が入らない	さし込みプラグが外れていませんか？	さし込みプラグをコンセントにさし込んでください	P. 6
給水しない 加熱しない	排水切替つまみが『排水』になっていませんか？	排水切替つまみを『抽出』に切り替えてください	P. 8
	電源ボタンがはやく点滅していませんか？	水タンクの水が不足しています、水を MIN (最小) 水位目盛以上入れてください	P. 5
	純度の高い水（純水・イオン交換水・蒸留水など）を使用していませんか？	水道水・ミネラル水に入れ換えてください	P. 5
抽出ヘッドが閉まらない	K カップまたは K カップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K カップまたは K カップホルダーセットを正しくセットしてください	P. 9 (P. 6)
スタートボタンを受け付けない	スタートボタンがはやい点滅になっていますか？	抽出ヘッドを開閉し、スタートボタンをはやい点滅にしてから押してください	P. 7
	抽出ヘッドがしっかり閉まっていますか？	抽出ヘッドをしっかり閉めてください	P. 3
抽出できない	スタートボタンが消灯し、電源ボタンがゆっくり点滅していませんか？	給水中または加熱中です。電源ボタンとスタートボタンが点灯するまでお待ちください	P. 8
	排水切替つまみが『排水』になっていませんか？	排水切替つまみを『抽出』に切り替えてください	P. 8
	水タンクが浮いていませんか？	水タンクを確実にセットしてください	P. 4
	電源ボタンがはやく点滅していませんか？	水タンクの水が不足しています、水を MIN (最小) 水位目盛以上入れてください	P. 5
	抽出ヘッドが浮いていませんか？	抽出ヘッドを最後まで閉じてください	P. 3
	K カップまたは K カップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K カップまたは K カップホルダーセットを正しくセットしてください	P. 9 (P. 6)
抽出量が少ない	抽出量調整つまみが少量位置にありませんか？	抽出量調整つまみを多量方向 (右方向) へ回して調整してください	P. 9
	K カップホルダー内の針が詰まっていませんか？	細い針金 (ゼムクリップなど) を針の穴に差し込み、詰まっているものを取り除いてください	P. 12
	抽出ヘッド内部の針が詰まっていませんか？	細い針金 (ゼムクリップなど) を針の穴に差し込み、詰まっているものを取り除いてください	—
	K カップまたは K カップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K カップまたは K カップホルダーセットを正しくセットしてください	P. 9 (P. 6)

こんなとき	お調べいただくこと	直しかた	参照
抽出温度がぬるい	室温の低い部屋で使用されていませんか？	一度お湯だけを抽出した後でご使用ください	P. 17
	カップが冷たくありませんか？	カップを温めてください	P. 17
抽出液に粉が混ざる	ファネル内部に粉が付着していませんか？	ファネルを清掃してください	P. 12
	抽出ヘッド内部の針または K カップホルダーの針表面や針穴に粉がついていませんか？	抽出ヘッド内部の針または K カップホルダーの針表面や針穴を清掃してください	P. 12
抽出された飲料が臭う	初めて使った場合や長期間保管した後に使っていませんか？	本体内部のすすぎを行ってください	P. 6～7
抽出中に抽出口以外からお湯が出る	K カップまたは K カップホルダーセットが正しくセットされていますか？	K カップまたは K カップホルダーセットを正しくセットしてください	P. 9 (P. 6)
本体の下から水が漏れる	水タンクが浮いていませんか？	水タンクを確実にセットしてください	P. 4
排水できない	排水切替つまみが『抽出』になっていませんか？	排水切替つまみを『排水』に切り替えてください	P. 11
	水タンクに水が残っていませんか？	水タンクの水を捨てて空にしてください	P. 11

こんな表示のとき	原因	直しかた	参照
排水切替つまみが『抽出』のとき電源ボタンがはやく点滅	水タンクが確実にセットされていません	水タンクを確実にセットしてください	P. 4
	水タンクに水が十分に入っていません	水を MIN(最小) 水位目盛以上入れてください	P. 5
排水切替つまみが『排水』のとき電源ボタンがはやく点滅	水タンクの中に水が残っています	水タンクの水を捨てて空にしてください	P. 11

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときはただちに使用を中止し、お買い上げ販売店にご相談ください。

ワンポイントアドバイス

● 飲料のバリエーション

多彩な飲料のバリエーションをご用意しています。
お好みに合わせて選択してください。

2012 年 9 月時点

コーヒー類	14 種
紅茶類	1 種
お茶類	3 種

● 自動蒸らし機能

本機には、コーヒー等をおいしくお召し上がりいただくため、自動蒸らし機能を採用しています。
抽出開始後、お湯をＫカップに適量注入した後に、一時お湯の注入を停止し“蒸らし”を行い、再びお湯の注入を継続します。

● 抽出温度が低いと感じたら

抽出された飲料が飲み頃の温度になるように設定されています。そのためＫカップから抽出された飲料の温度は約８５℃です。しかし、Ｋカップや飲料を受けるカップの温度、室温などにより飲料の温度が低下する場合があります。
室温が低い場所でご使用する際は、飲料を抽出する前にＫカップをセットせず一度お湯だけを抽出してから、飲料を抽出してください。
このとき、使用するカップにお湯を抽出すれば、カップも温められ飲料の温度低下を防ぐことができ、おいしくお召し上がりいただけます。

● 味が薄いと感じたら

本機では、抽出量調整つまみを標準抽出量 (約 140mL) に設定したときに、ちょうど良い濃さの飲料が抽出されるように設計されています。
薄いと感じた場合は、抽出量調整つまみを少量方向 (左方向) に回し抽出量を調整しお好みの濃さでお召し上がりください。

● 使用する水

コーヒーをおいしくいれるために使用する水は、一般的に軟水が良いと言われています。
一般の水道水や軟水のミネラルウォーターをお使いください。ミネラル分の含有量の多いヨーロッパ産のミネラルウォーターは硬水です。
（硬水を使用すると本体内部にミネラル分が水垢として残りやすくなります）

● 一度使用したＫカップは再使用しないでください

抽出された飲料の味の保証ができませんので、ご使用にならないでください。

仕様・点検のお願い

● 仕様

電源	交流 100Ｖ　50/60Hz 共用
消費電力	1000W
抽出方式	ドリップ式
製品の大きさ	幅約 18.4cm　奥行約 31.9cm　高さ約 27.7cm
製品の質量	約 3.2kg
水タンク容量	1.0L(水タンク最大水位目盛)
電源コード長さ	1.5m

※さし込みプラグをコンセントにさし込んだだけの消費電力は、約 0.2Wです。
※仕様は改善のため、予告なく変更することがあります。
※特定地域 (高地、厳寒地など) では、所定の性能が確保できないことがあります。
※この製品は、電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
　海外で使用し故障した場合、アフターサービスや無償修理保証の対象外になります。

● 点検のお願い

愛情点検

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください

このような症状はありませんか？	処置
・電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や、変色、損傷をしている ・電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする ・動作中、本体から異常な音がする	さし込みプラグを抜いてご使用を中止してください。 故障や事故防止のため、使用せずにお買い上げの販売店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 保証書は、必ず**「お買い上げ日・販売店名」**などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。（消耗品は対象外です）

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、補修用性能部品を**製造打切後、５年**保有しています。性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- **保証期間中の修理**
  保証書の記載内容により、修理いたします。
  詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎた後の修理**
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げ販売店にご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

KEURIG

保証書

持込修理

キューリグコーヒー抽出機		品番　BS200	
※お客様	お名前	ふりがな　様	
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	（　　）　　－	
保証期間	本体	1年	※お買い上げ日　年　月　日から
※ご販売店	住所・店名　電話（　　）		

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理は、修理により使用できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは、お買い上げ販売店にご相談ください。

修理メモ

- ※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルその他の注意書きにそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にもとづき無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、輸送などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震・風水害・落雷など）、塩害、ガス害、公害、異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   （ニ）車両、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。
   （ホ）本書のご提示が無い場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ト）消耗品の交換。
   （チ）ご使用による容器の汚れ。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

キューリグ・エフィー株式会社　〒105-8577　東京都港区新橋６丁目 1-11

2012/09
BS200-01